| | | | |
|---|---|---|---|
| SAPIX | 4年 | | |
| | 算数 | | |
| 学習内容 | 28回　円とおうぎ形（2）<br>29回　総合（25～28）<br>30回　深さの変化<br>31回　グラフの読み取り方 | | |
| 家庭学習ポイント | 28 回「円とおうぎ形（2）」では円、おうぎ形の面積を計算します。「×3.14」の計算がどんどん出てくるので、計算ミスとの戦いになります。円周・弧の長さ→直径×3.14、面積→半径×3.14を使うことを、繰り返し練習して間違えないようにしましょう。計算の経験を積んでいくことで、やがて「1桁の数字×3.14」の答を覚えてしまうようになると、計算ミスはグッと少なくなります。30回「深さの変化」では、水そうに物体を入れたときに変化する水位の問題について学習します。この単元の学習では①水そうを真正面から見た図を書いて状況を整理する②物体を入れる前後で体積が変わらない物、変わらない部分を見つける、の２点を心がけましょう。「体積一定⇒底面積と水面の高さは逆比の関係」を使いこなすこともポイントです。31回「グラフの読み取り方」では、「○分間で□cm上昇（低下）した」といった情報の読み取りの基本から学習します。単位時間あたりの変化がわかると、それが問題を解く糸口となります。グラフの読み取りは今後、図形や速さだけでなく、理科のばねや水溶液、社会の資料など、科目を横断して様々な分野で出てきますので、この機会に練習を積んでおきたいですね。グラフの縦軸と横軸が、それぞれ何を示しているかをしっかり確認することが大切です。 | | |
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | 「×3.14」の計算を筆算するとき、必ず3.14を上に書いて計算していますか？ | チェック |
| | 解決策 | このように書いて「1桁の数×3.14」を繰り返し計算する経験値を積み上げていきましょう | □ |
| | チェック2 | 円周（弧の長さ）を求めるのか面積を求めるのか、混乱していませんか？ | チェック |
| | 解決策 | 図をぱっと見て「思い込み」で解くのは危険です。しっかり問題文の文末を確認しましょう | □ |
| | チェック3 | 水位の問題では、必ず正面から見た図を書いて考えていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 問題に示されていなければ自分で書くようにしましょう | □ |
| | チェック4 | グラフの読み取りのポイントが掴めていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 縦横の軸が何を示しているのか確認、縦軸から辿って横軸の数値を確認（その逆も）という手順で | □ |
| | チェック5 | 基礎トレの学習をコツコツ続けていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 組分けテストなど実力テストで点を取るために続けましょう | □ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| SAPIX | 4年 | | |
| | 国語 | | |
| 学習内容 | 28回　コトノハ／なごみの日？　物語文<br>29回　コトノハ／小さな芸術家　物語文<br>30回　コトノハ／髪型・今と昔　物語文<br>31回　知の冒険／先生が食べられました？？　説明文 | | |
| 家庭学習ポイント | Ａ授業の読解では、文種別に「指示語」の内容や「接続語」の働きにも注意しながら正確に内容をつかんでいく方法を学びます。「表現技法」に関する内容も含まれます。なんとなく文章を読み、それでも今までは国語の点が取れていた「直感型」のお子さんは、だんだん読解が苦しくなってくる時期です。文種に合わせ、ルールにのっとって読むことに違和感を覚えている場合、注意が必要です。入試問では、指示語が示す内容を抜き出させる問題、指示語の示す内容を語順を変えさせてまとめさせる記述問題、記述答案の中にある指示語の内容を明らかにさせたうえでまとめさせる記述問題、記述答案の内容を抽象化させる記述問題、抽象化したものを選ばせる記号選択問題など、指示語の問題は多くの学校で出題されます。この時期に、指示語や接続後の問題の「解き方」「考え方」を掴むことを心がけましょう。国語の授業では、図や記号を用いて視覚的に素材文を理解することも学びます。素材文への線の引き方や印のつけ方を、意識的に改善していきましょう。 | | |
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | 「コトノハ」の文章を家庭でも音読していますか？ | チェック |
| | 解決策 | 言葉は文章の中で学ぶのが最適です。ぜひ続けてください。 | □ |
| | チェック2 | わからない言葉が文章の中に出てきたとき、調べる習慣はついていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 基本的なことですが、必ず調べる習慣をつけるましょう | □ |
| | チェック3 | 季節を表す言葉をたくさん知っていますか？ | チェック |
| | 解決策 | ご家庭内の会話でも、季節にまつわる話題を出すようにするといいですね | □ |
| | チェック4 | 指示語の示す内容を正しく把握できていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 指示語の前の内容から探す、最後にかならず当てはめて文章を読むといった基本を守りましょう | □ |
| | チェック5 | 素材文の構造を図にして表すことができますか？ | チェック |
| | 解決策 | 特に説明文や論説文の読解では有効な方法です | □ |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SAPIX | 4年 | | | | | | | |
| | 理科 | | | | | | | |
| 学習内容 | 28回　みあげてごらん<br>29回　みおろしてごらん<br>30回　地球はまわる<br>31回　まわる地球はまわる | | | | | | | |
| 家庭学習ポイント | 28回「みあげてごらん」では雲のでき方など気象について学習します。これまで気象に関心がなかったお子さんは、あらためて湯気・雲・霧・霜などの身近な現象を水の状態変化と関連付けて理解しなおす必要があります。特に理科全般に苦手意識を持っているお子さんにとって、生活に身近な気象に関心を持つことは今後の理科に対する学習意欲向上のきっかけになるでしょう。特に近年話題になることが多い猛暑・台風・豪雨など、気象に関するテーマを1つ、できるだけ詳しく調べてみるのも良いことです。１つのテーマに関して知識の厚みが出てくると、そのテーマに関して自信が持てるようになります。29回「みおろしてごらん」では太陽の動きについて、30回「地球はまわる」では地球上の夏と冬の違いや太陽の1年の動き、31回「まわる地球はまわる」では1日の気温・地温・太陽高度の変化を学習します。天体単元の学習が暗記に頼りがちにならないよう、模式図などを自分で書いて「仕組み」を理解することが元夫も大切になります。テキストだけでなく、市販の参考書や動画なども活用して理解を深めるのもいいですね。 | | | | | | | |
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | 寒いときガラスが白く曇る理由を説明できますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 気温が下がると水蒸気が水になることで多くのこと（湯気・霧・雲など）の説明がつきますね | □ | | | | | |
| | チェック2 | 太陽高度と地面が受ける熱の関係について、正しく説明できますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 模式図を書くなどして、一定の面積に集まる日光の熱について説明できるといいですね | □ | | | | | |
| | チェック3 | 1日、1年の太陽高度の変化と地温、気温の変化の関係を正しく説明できますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 太陽高度の変化⇒地面が受ける熱量が変化⇒空気が受ける熱量が変化　の時間差を説明しましょう | □ | | | | | |
| | チェック4 | 春分・秋分・夏至・冬至の地球の位置を模式図で説明できますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 自分で模式図を書いて説明できるようにしておくことが大切です | □ | | | | | |
| | チェック5 | テキストの「季節の図鑑」に目を通していますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 親子で読んでみて、調べ物などもしてみましょう | □ | | | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| SAPIX | 4年 | | |
| | 社会 | | |
| 学習内容 | 28回　外国との関係から見る日本の農業<br>29回　日本の水産業（1）～日本人は魚が大好き！～<br>30回　日本の水産業（2）～いろいろな漁業～<br>31回　日本の水産業（3）～魚を「育てる漁業」～ | | |
| 家庭学習ポイント | 28回「外国との関係から見る日本の農業」は、国際的な問題について考えさせる問題が増えてきた入試の現状を考えると、非常に重要な回です。物価はどのようなときに上がり、どのようなときに下がるのか、という経済の基本や、「人件費」という考え方、日本の食料自給率等、重要事項が散りばめられています。No.30からは日本で水揚げされる水産物の種類・漁獲量、そして様々な漁法について学びます。まぐろやいわし、すけとうだらといった身近な魚が、どの辺りの海を回遊しており、どの地方・どの漁港で多く水揚げされているのかを、漁法とあわせて覚えていきましょう。第一次産業の中でも、稲作や畑作など農業に比べると、漁業は出題頻度が低い分、出題されると差がつく分野です。29回では、日本で水産業がこれほどまでに盛んになった理由を、過去から現在までのさまざまな要因をあわせて理解していきます。30回ではいろいろな漁業種ごとの漁獲量とその変化を追っていきます。石油危機や200カイリ漁業専管水域の設定、いわしの漁獲量の急激な減少などと漁獲量の減少の関連などを順に理解していきましょう。 | | |
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | 日本とアメリカの農業の違いを、いくつかのデータをもとに説明できますか？ | チェック |
| | 解決策 | 農家1軒あたりの農地面積、農地面積あたりの働き手の数、肥料の量などから説明しましょう | □ |
| | チェック2 | 日本の食料自給率が低くなった理由を説明できますか？ | チェック |
| | 解決策 | 価格の安い輸入作物という外部要因と、農家の減少といった内部要因で説明できるといいですね | □ |
| | チェック3 | 日本人がこれまで魚をたくさん食べてきた理由を説明できますか？ | チェック |
| | 解決策 | 海に囲まれた海洋国家であること、潮目や大陸棚といったことから説明しましょう | □ |
| | チェック4 | 水揚げ量の多いおもな漁港の名前と位置を把握していますか？ | チェック |
| | 解決策 | 銚子港（千葉県）、焼津港（静岡県）、釧路港（北海道）は最低限、必須ですね | □ |
| | チェック5 | 「ソシオスコープ」「ソシオ博物館」を活用していますか？ | チェック |
| | 解決策 | 29回の内容では出世魚などについても知っておくといいですね | □ |